

しば子先生の

三

二

三

二

芝生教室



先生：しば代ちゃん、先月の宿題、「健康な芝生の状態とは？」の答えは考えてきたかしら？

生徒：はい、いろいろ考えてきました・・・そこそこよく伸びて、葉の広さも広からず狭からず、色も濃からず薄からず、葉の硬さも硬からず柔らか過ぎず・・・あんまりマット層も無いような・・・感じの芝でしょうか・・・？

先生：しば代ちゃん、その芝生が健康だという自信はあるの？何故それが健康な芝生であると説明できるのかしら？

生徒：説明ですか・・・何事もほど良いことが一番良い事かなと・・・思って・・・

先生：あらあら困ったわね・・・今まで科学的に芝生を見るようにとあれほど言ってきたのにみんな忘れちゃったのね・・・そんな非科学的な説明では落第よ！ひょっとしてもう夏休みの事考えているの？

生徒：すみません・・・科学的に考えた時の芝生の健康って・・・どのように考えればよいのでしょうか？

先生：かなり重症ね・・・じゃあしば代ちゃんの考えがどのように間違っているか考えてみることにしましょう・・・そうすれば何が正しい見方なのかわかるでしょう・・・じゃあ初めに、芝生の葉の幅を広くしたり狭くしたりするっていうことはどういうこと？

生徒：やっぱり肥料をあげなければ細くなるしあげれば太くなるという感じでしょうか？

先生：そうね与える養分量が下があれば葉が細くなるわね・・・それは典型的な窒素欠乏の状態よ・・・人間で言えば栄養失調ね・・・前にも言ったけど窒素は植物の成長に最も重要な役割をたくさん果たしているわ、その一つとして葉緑素を作る重要な構成要素なのよ、だから窒素欠乏＝光合成をする能力が落ちて成長が止まってしまうわ・・・その弊害は大変な問題を起こすわね・・・

生徒：そうでした・・・では葉が広がってしまうのは？

先生：ほとんどの場合それは窒素のせいではなく、同時に吸収されている過剰なリン酸成分が細胞分裂を助長して過剰に葉を広げていることが考えられるわ・・・土壌分析をして過剰なリン酸があるときは要注意ね・・・過剰なリン酸は病気にかかりやすくなるというデータもあるわ・・・またリン酸がなくても窒素欠乏を起こして芝生の芽数が下がってくると葉が横に広がって葉が広がったように見えることもあるわ・・・これも窒素

欠乏の症状の一つね・・・

生徒：じゃあ色を適度に薄く、なんて論外ですね・・・

先生：その通りよ・・・緑色が薄いということは明らかに葉緑素が減っているという

こと・・・葉緑素が減れば成長に必要なアミノ酸などの養分が合成できなくなるから成長が緩慢になり抵抗性が落ちて簡単な理由で枯れてしまうわ・・・ただ注意しなければいけないのは土壌温度が上がった時に土壌中の窒素が硝酸化されて過剰に急激に吸収されてしまう、あるいは脱窒して無くなってしまふことね・・・そこが窒素の難しいところで誤解されやすいところ・・・それを理解していれば緩効性の肥料や新しい肥料技術を利用して安全にいつでも窒素施肥を行えられるわ・・・

生徒：細い葉で薄い緑がいいなんて言ってしまうって、恐ろしいことを考えていたことになるんですね・・・

先生：プロの芝生管理者としては無知では済まされないわね・・・実際窒素の与えずぎで芝生が悪くなると思っている人が多くいるけど、きちんと土壌分析や葉身分析をして実際に窒素過剰で芝が枯れたことを証明した人には会ったことがないわ・・・ただ感覚で信じていただけね・・・実際は窒素欠乏で枯れているケースの方がほとんどだと思うわ・・・

生徒：ではどのぐらいの葉幅、色の濃さがいいのかはどう考えればよいのでしょうか・・・

先生：葉の幅も色の濃さも遺伝的に決定されているものよ・・・改良品種の中で、より葉幅の狭い品種を選べば細い葉が得られるし、原種の牧草のような品種ではいくら肥料レベルを上げても色は濃くならない、最新の洋芝なら肥料レベルを上げれば上げただけ濃くなって成長レベル上がるものがあるわ・・・どのような性質の芝種なのかを理解することが必要ね・・・つまり見た目の葉の幅や色とかで芝生の健全性を判断するのではなく、土壌中の養分バランスを適正にして、バランスの良い成分バランスで芝生に吸収させられる条件をそろえることが大事ということ。その上で葉身分析でバランスよく養分が吸収されているかどうか確認して初めて健全な芝生の状態がどうか分かるのよ・・・「葉色度計」を利用することも大切だわ

生徒：ほんとにその通りでした・・・

先生：硬さや柔らかさもそうよ・・・カリを入れたりケイ酸を入れたりして硬くする・・・なんていうことがあるけど、あくまでも基本であるバランスの良い土壌の養分条件を適正に整えた上に付け加える程度の微調整のような管理手法であって、それだけを過剰に与えても効果どころか弊害も考えられるわ・・・

